

新作歌舞伎～和と洋のコラボレーション 第三回システィーナ歌舞伎

# 「GOEMON 石川五右衛門」

## 《取材のご案内》

2011年11月12日(土)～14日(月)5回公演

謹啓 報道関係の皆さまには日ごろより何かとご高配をいただき、厚く御礼申し上げます。

大塚国際美術館(館長:大塚明彦、所在地:徳島県鳴門市)では、一昨年の『切支丹寺異聞 伽羅紗』、昨年の『スサノオ susanoo』に引き続き、ヴァティカンのシスティーナ礼拝堂を原寸大に立体再現した「システィーナ・ホール」を舞台とする新作歌舞伎『GOEMON 石川五右衛門』を、11月12～14日にかけて5回公演いたします。

今般、初演される「GOEMON 石川五右衛門」は、松竹株式会社の製作により、荘厳な雰囲気を持つ「システィーナ・ホール」に合わせて水口一夫 脚本・演出、藤間勘十郎 振付により創作して繰り広げる舞踊劇です。石川五右衛門には片岡愛之助、石田局には上村吉弥、出雲の阿国には中村孝太郎、五右衛門の子供時代 友市には上村吉太郎が、そして五右衛門と対立する豊臣秀吉には石田太郎、五右衛門の父 カルデロン神父には伊礼彼方がそれぞれ扮します。

システィーナ歌舞伎は、「和と洋のコラボレーション」「創作による新作歌舞伎」「地元からの共演」をコンセプトにしています。

今公演では、歌舞伎の「和」にスペインの民族芸術であるフラメンコの「洋」を取り入れ、徳島県出身の世界的なフラメンコ舞踊家である小島章司(2009年文化功労者)に特別出演いただきます。日本の伝統音楽である義太夫節とフラメンコギターという東洋と西洋の「魂の音楽」も美しく融合し、東西相互に培われた文化の力が相乗効果を生む、魅惑的な舞台となることでしょう。

また今回初めて、間口約19m×奥行約40m×高さ約15mというホールの中央に舞台を配置するアリーナスタイルの舞台を採用。鮮やかな天井画を背景にした宙乗りなど、歌舞伎のケレン(仕掛けを使って、観客の意表をついたり驚かせるような演出のこと)を盛り込んだダイナミックな演出も今公演の魅力です。

このたびも、徳島室内楽団の弦楽四重奏や徳島県内の劇団有志者など、地元からの共演が実現しました。システィーナ歌舞伎が、「文化立県とくしま」の更なる発展のため末長く親しまれるものになるよう、「NPO 法人 とくしま傾く会」(理事長:河野稔治)とともに取り組みたいと考えています。

以下に当日の概要をご案内します。報道関係の皆様には、お忙しい中恐縮ですが、是非ご取材賜りますようお願い申し上げます。

謹 白

## システィーナ歌舞伎「GOEMON 石川五右衛門」概要

### 公演日

11月12日(土) 【Stage1】11:00 【Stage2】14:30

11月13日(日) 【Stage3】11:00 【Stage4】14:30

11月14日(月) 【Stage5】11:00

30分前開場、各公演2時間半予定

### 演目

#### 『GOEMON 石川五右衛門』

石川五右衛門：片岡愛之助

出雲の阿国：中村耄太郎

友市（子供時代の五右衛門）：上村吉太郎

石田局 / 名古屋山三：上村吉弥

豊臣秀吉：石田太郎

神父カルデロン：伊礼彼方

#### 【システィーナ歌舞伎の五右衛門 作・演出 水口一夫】

三回目のシスティーナ歌舞伎です。今回、初めて四方を客席に囲まれたアリーナスタイルの舞台上で上演することにしました。毎回、芝居を創るといふより、この空間に挑戦する思いが先行いたします。演出家の闘志に火を点ける空間です。

五右衛門という主人公は、大泥棒ですが、庶民にとっては英雄でその生涯は伝奇的ロマンに溢れています。作者にとってはいろいろと発想が膨らむ役です。スペイン人の神父との混血児にしたのも、許されると思います。フラメンコを踊る五右衛門、愛之助さんといううってつけの五右衛門役者を得ての発想でした。フラメンコの第一人者で国際的に評価の高い小島章司さんに、御出演いただけたのはこんなに嬉しいことはありません。若いころ、親友たちが、小島さんの舞台を観て、大絶賛していたことを思い出します。その十二分な存在感のある踊りをお楽しみ下さい。昔、フラメンコギターで近松門左衛門の作品をと企画したことがありました。義太夫もフラメンコもともに魂の音楽です。

この場所での宙乗りです。歌舞伎のケレンの醍醐味です。いつもは、ミケランジェロの天井画は、ご見物の死角になっていました。今回はそれを克服する演出を心がけました。宙乗りもその一つです。

五右衛門の母 石田局は、連続出演の吉弥さんです。石田局の件は上演を見ませんが、片岡十二集に入っている、大切なお役です。腹を切りながら、お能を演じるという難役です。吉弥さんのもう一役は、名古屋山三です。耄太郎さん扮する出雲の阿国は、歌舞伎の始祖で、今回は特にフラメンコを取り入れ、歌舞伎おどりを完成させることになっています。神父カルデロンには、伊礼彼方さんを熱望し、実現しました。また、巨悪の秀吉には、ベテラン石田太郎さんと異色の顔合わせとなりました。

時代に少しずれがあったり、史実とも違ったりしています。そこが歌舞伎の面白いところ、何でもありが、歌舞伎の魅力です。

今回も、同志藤間勘十郎さんに振付、作曲をお願いしました。二人で組めば怖いものなしです。

## 取材可能な時間

- ・ 11月11日(金) 21時過ぎから、初日通り舞台稽古  
稽古の進捗状況によって時間が遅れ、深夜に及ぶ可能性があります。
- ・ 11月12日(土) 公演 Stage1【11:00 開演】 Stage2【14:30 開演】
- ・ 11月12日(土) 「出演者を囲む夕べ」 18:30 から (会場: ホテルリッジ「カリフォルニアテーブル」)
- ・ 11月13日(日) 公演 Stage3【11:00 開演】 Stage4【14:30 開演】
- ・ 11月14日(月) 公演 Stage5【11:00 開演】

いずれも撮影可能です。ただし、公演中はフラッシュの使用をご遠慮下さい。

取材中は、必ず社名の入った腕章を着用してください。

なお、公演中の取材等での制限があり、ご不便をお掛けする場合がございますが、ご容赦ください。

### 《お願い》

お手数ですが準備の都合上、**11月10日(木)まで**に、下記 FAX 番号まで、ご取材の有無をお知らせくださいますよう、お願い申し上げます。

**FAX 番号 : 088 - 687 - 1117 (大塚国際美術館)**

御社名		御名前	
連絡先			

**ご参加いただけるところを で囲んでください。** 一部ご希望に添えない場合がございます。

11月11日	初日通り舞台稽古 (道具をそろえて衣裳、髪を着けて行われる稽古です)		
11月12日	Stage1 観劇	Stage2 観劇	出演者を囲む夕べ
11月13日	Stage3 観劇	Stage4 観劇	
11月14日	Stage5 観劇		

《本件に関するお問合わせ先》大塚国際美術館 企画・広報部：坂本明子

TEL : 088-687-3737 FAX : 088-687-1117

大塚国際美術館  
OTSUKA MUSEUM OF ART